討伐屋の二人組

焔 霞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

討伐屋の二人組【小説タイトル】

N コード 3 4 ド 2 7

【作者名】

焰霞

るときはやる)のジゼット。 真面目な好青年(たまに鬼畜)なロイドと自由気楽がモットー 【あらすじ】 サンライド皇国で討伐屋を営むロイドとジゼット。 つせ

性格も好みも正反対な二人組の冒険譚というよりは日常?な話。 そのほか神出鬼没な情報屋やら薬屋&暗殺稼業を営む姉妹など.

討伐屋の二人組が活躍する (...... はず) 。

サンライド皇国~ルイゼン通り~ (前書き)

誤字脱字やその他指摘がありましたら連絡お願いしますm (_ m

では、どうぞごゆるりと(* ^ __ ^ *)

サンライド皇国~ルイゼン通り~

にぎやかな街の通りに俺たちは買い物と依頼探しに来ていた。

ちのひとつで、平和な国だ。 ここはサンライド皇国。 この大陸における三大強国と呼ばれるう

な関係だが、 帝国。シルヴェスタはサンライドの同盟国であり、なかなか友好的 ちなみに、残り二つの国は隣国のシルヴェスタ王国とリスタール リスタールはこれら二つの国と敵対関係にある。

るため、 ルヴェスタとそりが合わないのだ。 リスタールは武力に優れ、力が絶対であるという理念を持っ 力よりも文化やつながりを大切にしているサンライドとシ て

横目で眼鏡越しに俺の相棒であるジゼットを確認する。 今回の依頼はガウル地方の妖狼退治だ。 ジゼット」

の腐れ縁だ。 大きなあくびをしている野性的な青年であるジゼットとは昔から

ドのことだし」 「スノーマウンテン。永遠の雪山かぁ~地図は..... あるよな。 ロイ

「お前がアホなだけだろうが」

でもしないと、俺の持病になってしまった頭痛が起こるからだ。 俺の正しい指摘に文句を言いはじめたジゼットは無視した。 そう

からなので、原因は十中八九こいつだ。 そもそも頭痛持ちになったのがジゼットと生活するようになって

ヴェスタの国境にある。 は呼び名の通り雪が溶けることはないい。 俺たちの受けた依頼場所である『永遠の雪山』スノーマウンテン 場所はサンライドとシル

とで有名だ。 ガウル地方は皇国側の領土で鉱山からたくさんの鉱石がとれるこ 妖狼は普通の狼とは違い、 主食が鉱石などの石だ。

ぁきまぐれに肉も食べるが。

まぁいい。 狼ではなく妖狼なのは少しやっ かいだが、 さっさと片

付けるぞ」

「りょーかい~!」

「のばすな。鬱陶しい」

また騒ぎ始めたジゼットに本当に頭痛がしてきた.....。

とって、このまま手放すのは損が多い。 なりの実力者だ。 相棒をやめたいのはやまやまだが、不本意なことにジゼットはか あくまでも、策を練ったり、 後方支援が主な俺に

「あー.....とりあえず黙れ」

自分が非力なのはわかっているので思いっきり、 げんこつをジゼ

ットの頭に一発。

「いつつつてええええ!!」

そういって、座り込んでしまったジゼット。

戦闘中はもっと大きい怪我するだろ?」

.....いや、机割れるくらいのげんこつだぜ? 痛いって」

のぁ。そういえばそれくらいはできたっけ。

ジゼットはホントに犬みたいで可愛かった。 それにしても、 頭をさすりながら痛みからなのか瞳の潤んでいる いた、 俺の意識の中で

は、こいつは大型犬だからな?

「なんか、すっげぇ失礼なこと思ってるだろ」

「あぁ。犬として可愛いぞ」

可愛いって......俺の方が背高いし~犬って.....なんか微妙」

今は座っているからな。それに、 犬と思われているだけましだと

思え」

る 元気のなくなったジゼットをみつつ、さてどうしたものかと考え

たら、 人気のない路地だからい 変に思われるかもしれない。 いものの、 こんなところを誰かにみられ

選択肢を考えてみた。

1,無視 2,慰める 3,蹴る

3はかわいそうだ。よって1だな。

と、結論を出し、何事もなかったかのように先を急ぐ。

声で言ってやるからな!」 「うわっ置いてくなよロイド! じゃないとお前の学生時代の話大

を確認する機能でさらに探す。 ピタッと止まる。周りを見渡し、 眼鏡に内蔵されている生体反応

ゼットに肘鉄。 誰もいなかったことに胸をなでおろし、 背後から近づいてきたジ

「グハッ! マジいてぇ~.....」

「おやおや。そんなことで痛がっていてはこれからの苦痛にたえら

れるのでしょうかね?」

口調の変化に気づいたようだ。

「.....怒ってる?」

快な気分でございますよ?」 これから無残に死んでいくジゼットさんを考えて、とてもとても愉 「い~え、とんでもない。はらわたが煮えくりかえっておりますが、

あくまでも、ニコニコと微笑みは絶やさない。

して、その状態の俺をもっともよく知っているのがこいつ。 怒りの沸点に達すると口調が変わりまくるのが俺の悪い癖だ。 そ

めっちゃ怒ってるだろ! ごめんって俺が悪かった! ロイド様

が正しいから! 機嫌直して~!」

お黙りなさい? 怒りを静めるために俺は一人転移魔法を使用し、 目的地へ向かった。 買い物から帰ったら楽しみに待つことですね ジゼットを置い

ロイドが転移魔法でいなくなってしまったあと。

どうしよ.....」

と魔法が大の苦手なジゼットはひとり、 肩を落としていた。

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 ています。 の縦書き小説 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 タイ の いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n3348z/

討伐屋の二人組

2011年12月11日15時49分発行